

2025 年 11 月 6 日

各 位

(経過開示) JPYC の保有とドルペグ暗号資産を活用した、  
DeFi 上での流動性提供および利回り運用開始のお知らせ

当社は、暗号資産を活用した柔軟な財務構造の構築と、Web3 経済圏への積極的な参入を進めております。

当社は、2025 年 10 月 27 日付「[日本初の円ステーブルコイン『JPYC』を SocialFi アプリ『WOWOO』および分散型取引所『WOW Dex』に導入決定](#)」にて既報のとおり、JPYC の導入を進めてまいりました。

このたび、日本円に連動したステーブルコイン「JPYC」と、ドルペグ通貨（USDC・USDT など）を用いた分散型金融（DeFi）上での流動性提供（LP）および利回り運用（イールドファーマリング）を開始いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本運用スキームは、暗号資産のボラティリティを抑制しつつ、安定的な資産運用リターンを確保することを目的としており、今後の企業収益の新たな柱の一つとなることを見込んでおります。

## 1. JPYC の活用と DeFi 運用の構造

JPYC は、日本円と 1 : 1 で連動する日本初のステーブルコインであり、暗号資産を法定通貨に限りなく近づけた「オンチェーン円」としての機能を果たします。

当社では、この JPYC を取得・保有し、ドルペグ型ステーブルコイン（USDC・USDT など）との通貨ペアを形成して、分散型取引所（DEX）上に流動性を提供する運用を 2025 年 10 月 27 日より開始いたしました。

これにより、以下のような経済モデルを構築しています。

- 流動性供給により、スワップ手数料やファーマリング報酬といった「安定的かつ継続的な利回り」を獲得
- 円とドルに連動するステーブルコイン同士のペアであるため、原資産の価格変動リスク（インパーマネントロス）が極めて小さい

➤ 日本円ベースでの収益確保が可能になり、会計上の収益認識・管理面においても高い透明性を確保

このように、「円建て資産を Web3 上で動かし、ドル建て通貨と効率よく交換性を持たせながら、無リスクに近い形で収益を確保する」という、新しいタイプのデジタル資産運用モデルを具現化しています。

## 2. WOWOO アプリとの連携

今回の JPYC 活用スキームは、当社が開発を支援する「[WOWOO](#)」との連携によって、さらに広がりを持たせていきます。

同アプリに、今後以下の機能を順次実装予定です。

- JPYC のウォレット内チャージおよび送金
- JPYC-USDC などの流動性提供操作のワンタップ化
- 年利表示・報酬履歴などの利回り可視化 UI
- ステータス解除、再投資の自動化フロー

これにより、Web3 や DeFi に不慣れな一般ユーザーでも、シンプルな UI を通じて JPYC を活用した利回り運用が可能となり、日本円建てでの資産運用の民主化に寄与してまいります。

## 3. 今後の展望

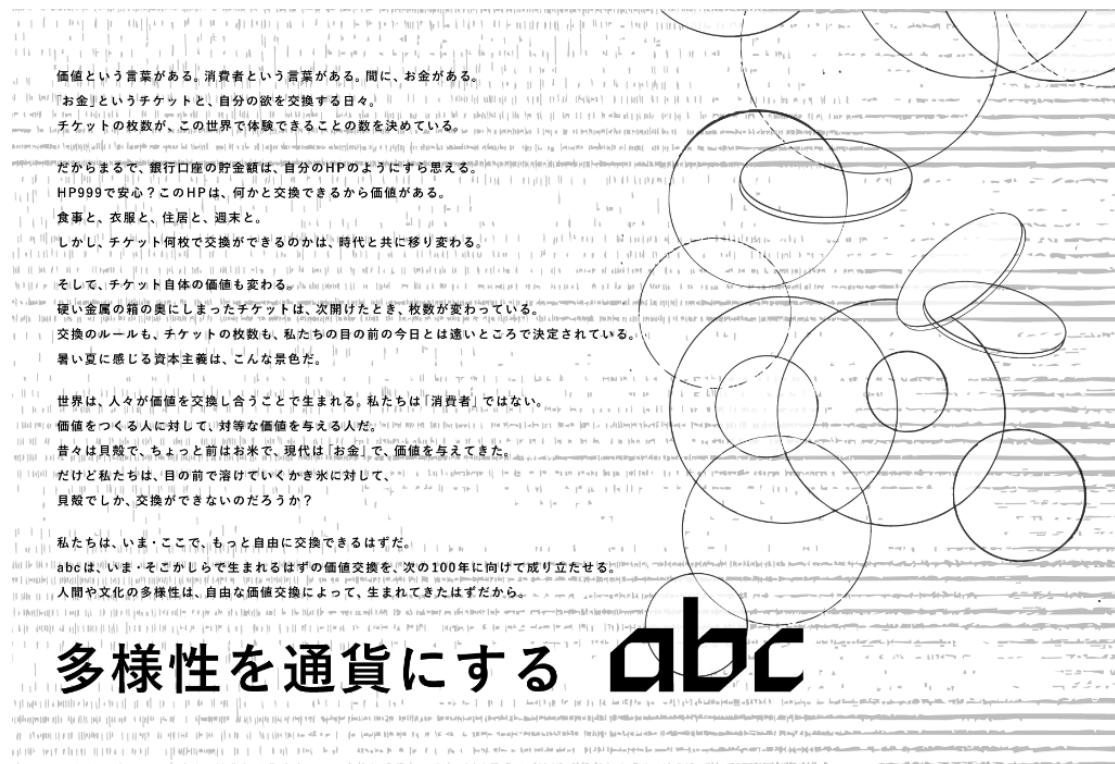
本取り組みは、当社の中長期的なトレジャリー構造強化の一環として位置付けており、以下の展開を想定しています。

- JPYC の取得規模の段階的拡大と分散型取引所での継続的 LP 運用
- DEX 上での複数通貨ペア展開と、プロトコルとのパートナーシップ深化
- WOWOO アプリを起点とした「個人でも実行可能な法人資産運用モデル」の UX 提供
- 将来的には AGF トークンとの連動スキームも検討し、DeFi×法人トレジャリーの新たな事例を創出

なお、本件が当社連結業績に与える影響は軽微です。

※本リリースは情報開示を目的としており、暗号資産の購入や売却を勧誘するものではありません。

※記載された時点での情報に基づいており、今後の運営方針や仕様は変更となる可能性があります。



■ abc 株式会社について <https://www.gfa.co.jp/>

abc は「多様性を通貨にする」を掲げます。私たちのアイデンティティであり、北極星であるこの言葉は、未来社会への約束です。私たちはこの言葉を、経営、事業、クリエイティブの判断軸とすることで、Web3 技術を核とした通貨の専門集団として、従来の金融システムの枠組みに捉われない「善いことをした人が得をする世界」を目指します。

abc のグループ企業ネットワークにも「Tokenizing by abc」をブランド表記として加え、各事業と一体で示すことで、統一的なブランドマネジメントを通じて、グループ全体として多様性を通貨にし、新しい価値交換システムを提供していきます。

所在地：東京都港区赤坂四丁目 9 番 17 号 赤坂第一ビル 11 階

代表者：代表取締役 松田 元

事業内容：企業・ファンド等への投資、投資先支援、不動産関連事業、暗号資産関連事業

《本件に関するお問い合わせ先》

abc 株式会社 経営企画部

[pr@abc-chain.com](mailto:pr@abc-chain.com)

以上